

# 生活者ネットワーク 区議会ニュース

2020年第三回定例会報告号

## 新型コロナで露呈した課題に 機能・体制の強化を急げ

第三回定例会(9/11~10/16)が開催されました。

9月16日やない克子が、新型コロナ対策、男女共同参画、性暴力防止・被害者支援、子どもの権利にもとづく学校環境、エネルギー、プラごみゼロ、化学物質・香害対策、石神井公園駅再開発の見直しなどについて、一般質問しました。練馬区議会ホームページで、動画を見ることができます。

### 主な質問と回答

#### 男女共同参画について

Q: ①「第5次男女共同参画計画」に基づき、全小中学校で男女混合名簿を作成した。その活用と男女平等教育推進についての区の考えは。

A: 出席簿や授業参観の受付簿など、各学校の実態に応じて活用。各教育活動の目的や発達段階に応じて、人権の尊重や男女平等に配慮した教育を実施している。

意見: 名簿を作成して終わりではなく、男女平等、性の多様性を児童生徒、教職員が理解するための日常の学校運営が求められる。男女を色分けして示すなど、これまで継続されてきた習慣などの見直しが必要。

#### 子どもの権利に基づく教育環境について

Q: 学校行事の中止や縮小について子どもたちの意見を聞き、できることを一緒に考えよ。

A: 感染予防のためにやむを得ず判断。各学校・園で、子どもたちの心情に配慮し、発達段階に応じて丁寧に説明。代替行事は、各校の実情や、子どもたちの意見やアイデアを踏まえ、感染予防対策を講じてできる活動を計画・実施している。

意見: 国連子どもの権利委員会は、子どもたちは、現在起きていることを理解し、かつパンデミックへの対応の際に行なわれる決定に参加していると感じることができるべきである」と表明。意見表明権の保障を。

#### 男女共同参画について

Q: 生活者ネット実施の「セクハラ、DV、性暴力自治体調査」の結果、共通課題は「人権教育」としての性教育。助産師や保健師、産婦人科医など専門職または民間団体を招いての性教育を全校で実施すべき。

A: 学習指導要領等に基づき実施。都の「性教育の授業」実施モデル校の成果を踏まえ、適切に性に関する教育を行っていく。

意見: 2018年度に区立小・中学校で専門職または民間団体を招いての性教育を実施したのは、中学校34校中6校だけ。等しく学ぶ権利の観点からも、全校での実施が必要。

#### 気候危機とエネルギーについて

Q: 本庁舎の電力調達にCO2排出量や再生エネの割合を最重要条件とし、総合評価方式による入札で気候危機に対応した電力に切り替えるべき。

A: 電力調達は、施設の規模や特性、供給電圧の種別などを総合的に勘案し、その時点で最適と判断した方法で契約を締結。既に契約の見直しについて検討を進めている。

意見: 環境配慮方針に基づいていても必ずしもCO2排出量や再生可能エネルギーなど気候危機を重視したエネルギー政策につながらず、経済性を重視している自治体が多い状況だ。危機感を持つべき。



区議会議員 やない克子

保健福祉委員会／交通対策等特別委員会  
ホームページ <https://yanai.seikatsusha.me>



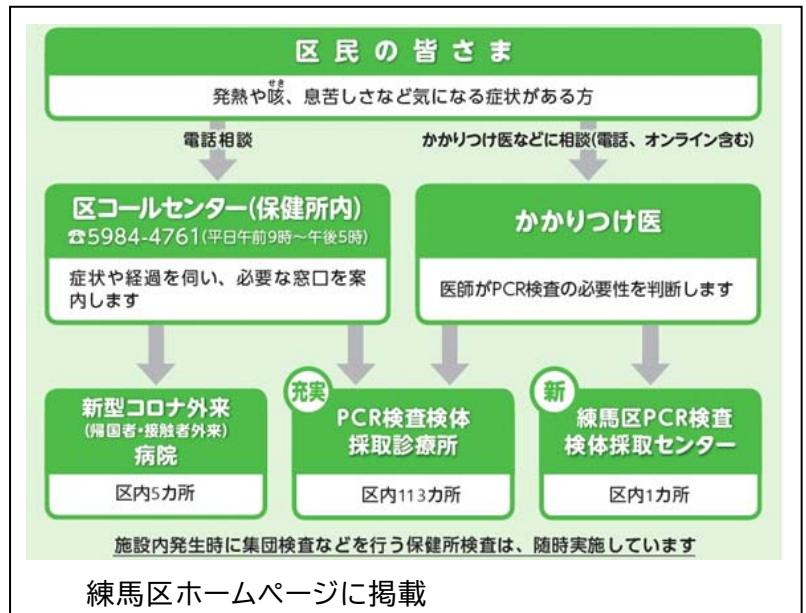
区議会議員 きみがき圭子

文教児童青少年委員会／総合・災害対策等特別委員会  
ホームページ <https://kimigaki.seikatsusha.me>



# 新型コロナウイルス関連 検査体制は今

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は5月、6月、8月、9月の4回、総額865億1,542万円の補正予算を編成し、医療提供体制の充実や区内医療機関での唾液によるPCR検査、PCR検査検体採取センターの設置など検査体制は拡充されています。



練馬区ホームページに掲載

## 誰も置き去りにしない区政の実現を求めて 決算特別委員会報告

9月29日～10月9日の決算特別委員会で、2019年度一般会計決算と国民健康保険事業・介護保険会計・後期高齢者医療会計・公共駐車場会計の4特別会計の質疑を行いました。不要不急のインフラ整備より環境・福祉優先の施策を求めて、公共駐車場会計を除く4議案の決算認定に反対しました。

後期高齢者医療会計では、不適切な会計処理が生じました。二度と起こさないよう全庁挙げての共有とチェック体制の強化を求めました。

- 臨時の1・3歳児1年保育が常設化している。就学前までの切れ目のない保育環境を。
- 地球温暖化による気候変動への危機感に欠けている。再エネ100%のエネルギー政策へ転換を。
- 今後の景気の見通しが立たない中で、住民合意が図れていない道路建設や再開発事業は見直しを。
- 住まいは生活の基盤。空き家・空き室を活用した低家賃の住宅や公的な住宅を早急に増やすべき。
- 練馬城址公園には、突然のハリーポッタースタジオツアー施設に疑問をもつ区民の声に向き合うべき。
- 新型コロナ感染拡大で突然の休校、夏休みの短縮、分散登校、行事の中止など当たり前の学校生活が大きく変わった。戸惑う子どもたちに寄り添い、きめ細かな対応を。
- 保健所の体制や日々変わる検査状況などの情報が不足。区は積極的な発信を。
- 高齢者・障がい者の生活への新型コロナ感染症の影響を検証し施策に反映を。
- 職を失いネットカフェや路上で生活している、行き場のない若者が急増。最後のセーフティネット、命をつなぐ生活保護制度は生活が立ち行かなくなった時、誰もが受ける権利がある。当事者の人権を守る相談体制と対応を求める。

information 第四回定例区議会 2020年11月27日(金)～12月11日(金) 予定  
本会議はインターネット動画配信(生中継)でも傍聴できます。

2020年10月20日 発行 生活者ネットワーク 発行責任者 やない克子  
〒176-0001 練馬区練馬 1-15-1-302 TEL:03-3993-4899 FAX:03-5999-4632  
Web ページ: <http://nerima-seikatsusya.net/>  
メール: [net-gikai@jcom.home.ne.jp](mailto:net-gikai@jcom.home.ne.jp) ご意見・ご質問をお寄せください

